



今年も変化朝顔が咲きますよ

～例年通り開門を早める特別撮影日を設定します～

ふじやま公園を訪れる方にはもうすっかりおなじみになった夏の風物詩「江戸変化朝顔」。花の季節を前に今着々と成長中です。

もともとが突然変異で生まれたものなので、出来た種を蒔いても翌年も同じように咲くとは限らないのが苦労するところです。江戸時代にはそれがまたオモトや菊とともにもてはやされ、高値で取引されたそうです。幕府が規制する通達を出したことが小岩井家の古文書「嘉永5年御用留」に残っているというから不思議な縁です。

公園での栽培に携わって6年目の農芸部のボランティアは「種ができないのもあり、それはその兄弟からの変異を期待しています。さてどんな花が咲くことやら」と開花を楽しみ半分、不安半分で待っています。

朝が早い花なので8月10日(月＝休)を、通常9時の開門を1時間早める特別撮影日とすることにしました。第3回写真コンテストも開催されますので、奮って応募してください。(写真上は去年の応募作品) テーマはふじやま公園で、変化朝顔に限らず他の花でも古民家でも、公園を楽しむ人たちでも何でも結構です。締切は昨年同様8月31日(土)で、1人3点までの応募とします。

応募はメールで hongofujiyama@hongofujiyama.jp へ。



外が35度を超える猛暑日には天井が高く空気が少し涼しい古民家主屋が一番！と思うのは人間ばかりではないようで、何やら小動物が主屋に入り込んでいる気配が一つ二つ感じられる。姿を見たわけではなく、また排泄物が発見されたわけでもないのだが、屋根に不審な茅が束になって抜かれていたり…。遊んでいるだけならいいのだが、



棲まれては大変。詳しく調べてみなければ判らないのだが、何しろ高い所なので調べるだけでも大変。何か怪しいものを見たときはぜひご一報を。

★ 今年も七夕飾りが大人気でした

1 日(水)が休館日のため今年は 2 日からとなった七夕飾りは折り紙と色とりどりの短冊が用意され、例年のように訪れた子どもたちが楽しい夏休みになりますように、もうコロナが無くなりますように……などを書いて竹に飾付け、お星さまにお願いしました。



釜・羽釜

釜は飯を炊いたり湯を沸かししたりする炊飯・調理用具です。一般的な飯炊き釜は鋳鉄製で鍋よりも底が深く、腰の部分にカマドに掛けて使用するための羽(鏝とも呼ばれる)が付いています。釜はかつてカナエ・マロガナエなどとよばれましたが、現在では飯炊き用の羽釜をさします。木製の分厚い蓋が付属して、飯を蒸(む)します。羽の役目はカマドに掛けるほかに下からの熱を逃がさず、吹きこぼれがカマド内に入らないようにしています。底は丸くなっており熱が伝わりやすくなっています



コメが貴重な江戸時代中頃までの炊飯は、麦や野菜など増量材を入れた糧飯(カテメシ)で多量の水を入れ鍋で煮て、沸騰後にザルに上げるなどして重湯を取り、それを蒸籠などに移して蒸らす「湯取り法」が主流でした。その後、米食の普及やカマドの改良により羽釜が炊飯の主流になりました。現在の羽釜による炊飯は「炊き干し法」と云い、水が多い段階では米を煮る状態、水が少なくなった段階では米を蒸す状態とし、水分は蒸発分以外すべて米に吸収させる方法です。



古民家主屋の勝手に置きべっついがありアルミ製の羽釜が、土間のカマドに鋳鉄製の大きな羽釜がかかっています。アルミ製の羽釜の寸法は内径 28.5cm、深さ 24cm で 2 升 5 合炊きです。

能舞・能管コンサートは来春に延期します

ふじやま公園の秋の風物詩としてすっかり定着した能舞・能管コンサートは新型コロナウイルス感染症対策として、10 月 24 日の公演を中止して来春(期日未定)に延期することが決定しました。例年大人気で、今年もすでに問い合わせがありましたが残念ながら延期します。ぜひ来春をお楽しみにしてください。

国土交通大臣から感謝状をいただきました

本郷ふじやま公園運営委員会公園愛護会が、長年にわたる公園愛護活動の評価されて「みどりの愛護」功労者として国土交通大臣から感謝状を頂きました。



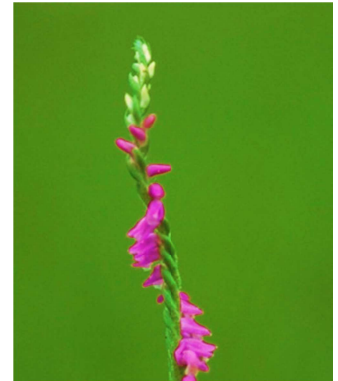
例年なら天皇陛下ご臨席の式典で表彰されるのですが、今年はコロナの関係で中止となり、7 月 2 日に公園で栄土木事務所所長から保坂会長に感謝状と副賞が贈られました。

ネジバナ（ 振 花 ） 別名モジズリ

春から夏にかけ、茎の周りにピンクや白の花をらせん状に咲かせるラン科の多年草。ねじれ方は右巻きも左巻きもあり、花がねじれて咲くことが名前の由来となっている。

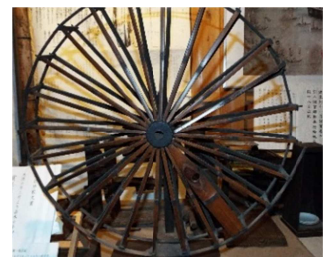
別名のモジズリは、百人一首の中にある“陸奥のしのぶもちずり 誰ゆゑに 乱れ初めにし我ならなくに”の中で歌われている、文字摺のよじれた模様がよれて咲くネジバナの姿と似ていることからつけられたといわれている。

公園では、雑草の中を注意深くみていると見つけることができる。



8月1日（土）から「古民家とむかしの道具展」

古民家主屋の内蔵にはさまざまなむかしの道具があります。全部がここにあったものではありませんが、童話「たぬきのいとぐるま」でおなじみの糸車（部分）など、お爺さんやお婆さんが子どものころに使っていた道具もたくさんあります。そんな道具などを、8月1日（土）から9日（日）まで、古民家主屋で展示します。小学3年生は秋から冬にかけて、学校の社会科でむかしの暮らしを勉強します。ぜひここで予習をして下さい。



『いろり辺雑記』 から（原文のまま）

- ◆ とても落ちついていて 良い場所です。
コロナで大変な時期ですけど 散歩で来てみてとてもよかったです。
（ 市内 10代 ひとりで）
- ◆ ステキな場所ですね （滋賀県甲賀市より 50代 家族で）



令和2年8月度ボランティア活動予定

部 会・事 項	日 程	部 会・事 項	日 程
事務局会議	1 日(土)	古民家歴史部会 部会	9 日(日)
農芸部会 部会	17 日(月)	古文書解読勉強会	休みます
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	休みます
里山部会 作業	1 日、8 日、15 日(土)	クリーンアップ	4 日(火) 18 日(火)
	23 日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	夏休み	ふじやまだより編集会議	8 日(土)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	印刷	14 日(金)
		ホームページ制作打合せ	30 日(日)

ふじやまだよりの編集に関心のある方、公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください

体験教室のお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策のため、教室の定員を当面 6 名以下とします。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限定員
新型コロナウイルス感染症への対応の為、今月の募集はありません				

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応の為、体験教室と下記の“お知らせ”の実施を中止することがあります。あらかじめご承知ください。

．．．お 知 ら せ．．．

★ 8 月からの行事予定 詳細は改めてお知らせします。

8 月 10 日(月) 変化朝顔 撮影会

8 月 31 日(月) 第 3 回ふじやま公園写真コンテスト応募締切

応募はメールにてお願いします 1 人 3 点まで

10 月 17 日(土) にぎわい座出前寄席

11 月 14 日(土) 収穫祭 写真コンテストの発表・表彰 11 月 19 日(木) 古文書講座

12 月 6 日(日) ポイントラリー 12 月 13 日(日) 年末餅つき会

来春 能舞・能管コンサート ふじやま茶会

ボランティア会員を募集しています

横浜市指定有形文化財に指定されている本郷ふじやま公園は、地域に根ざした文化体験の場として、現在 140 名ほどのボランティアが携わっています。公園には四季折々の花が咲き、地域のみなさんが集うさまざまな行事が行われています。落語や文楽、能舞・能管コンサート

などのイベントも開催しています。ふじやま公園を支えているのはボランティア会員の協力です。ボランティアは農芸部会、里山部会、広報部会…などに分かれて、公園と市民をつなぎ、自然と古民家を守る活動を行っています。各部会とも一緒に活動する新たな仲間を募集しています。電話（045-896-0590）でお問い合わせください。



ふじやま公園来園者数 6 月来園者数 1,331 名 2 年度累計 7,038 名

・開 館 時 間：	9 時～17 時
・入 館 料：	無 料
・休 館 日：	毎月第 1 水曜日です（8 月 5 日）

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷 1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593